

WYSIWYG操作マニュアル ～高度な設定編～

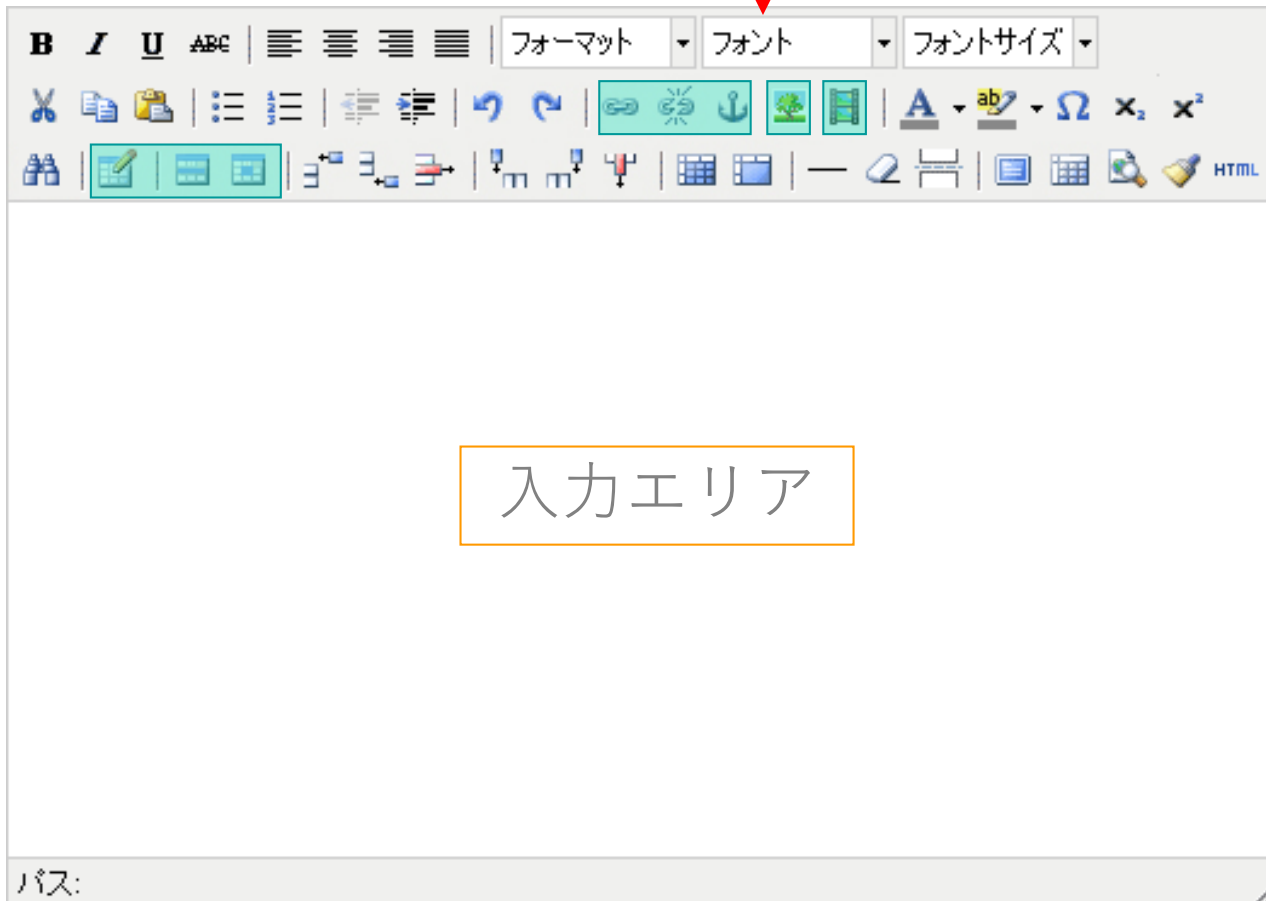
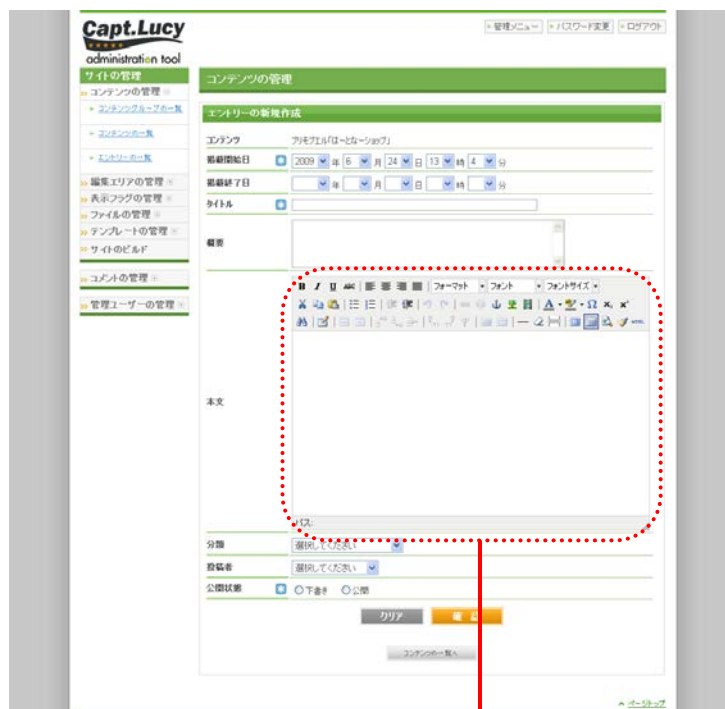
株式会社オーク

作成日：2009年7月28日
更新日：2011年4月25日

はじめに

エントリー作成画面の記事入力部について

本書では、WYSIWYG操作において高度な設定操作のご案内をさせていただきます。
基本的な操作方法は別紙をご参照ください。



対応機能の表示/非表示、またはボタンの位置は、サイトによって一部異なる場合がございますのでご了承ください。

WYSIWYG (ウィジウィグ) 操作マニュアル (高度な設定編)

目次

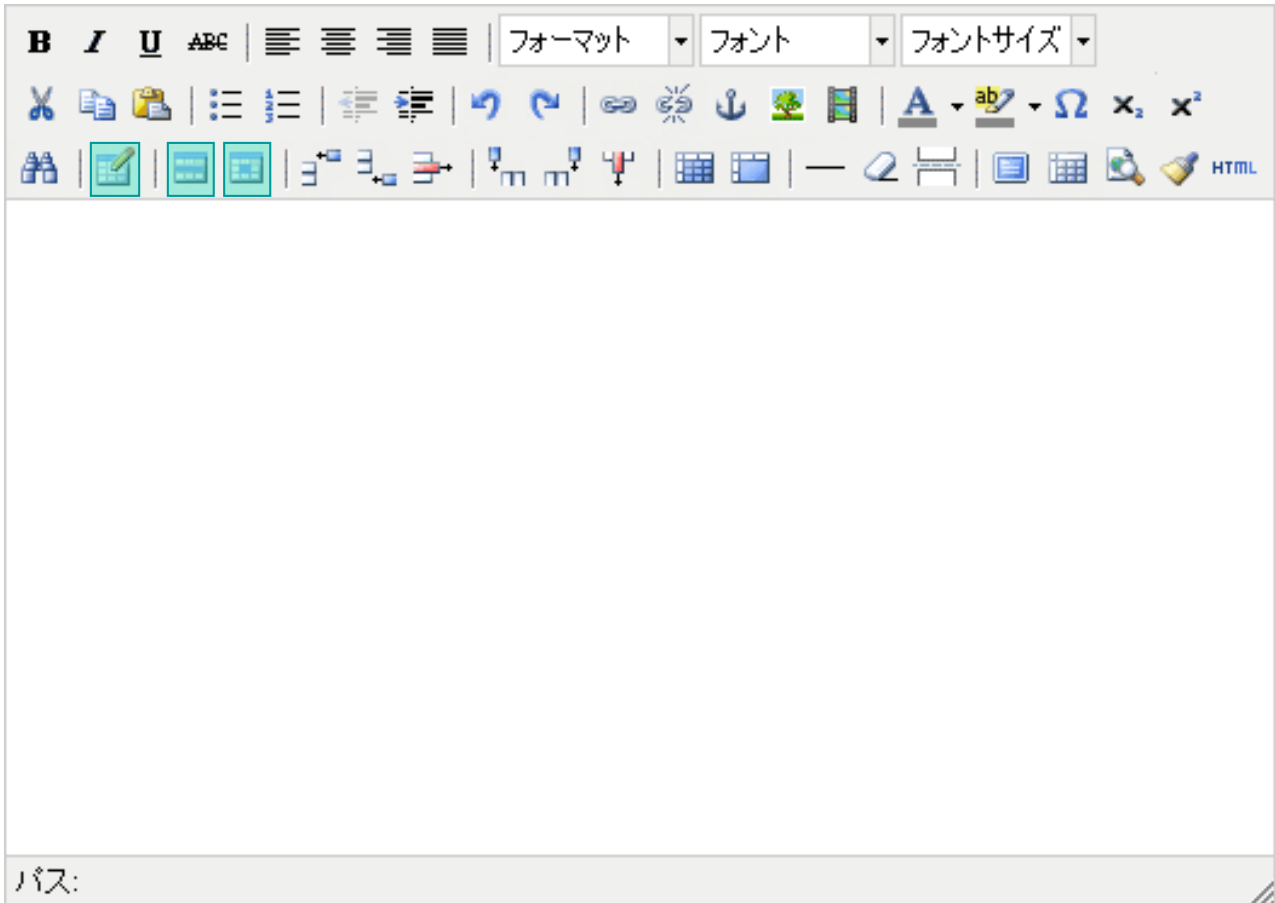
1.表組みの挿入・編集	P.5
1-1. 表組みの編集 (表組み全体の調整を行う)	P.6
▪ <table>へのIDの指定	▪ <table>へのframe属性の指定
▪ <table>へのsummary属性の指定	▪ <table>へのrules属性の指定
▪ <table>へ直接CSSを指定する	▪ <table>へのdir属性の指定
▪ <table>への言語コードの指定	▪ <table>への枠線の色指定
▪ <table>へ背景画像を指定する	▪ <table>への背景色の指定
1-2. 表組みの編集 (行の調整を行う)	P.8
▪ <tr>へのIDの指定	▪ 言語コードの指定
▪ <tr>へ直接CSSを指定する	▪ <tr>への背景画像の指定
▪ <tr>へのdir属性の指定	▪ <tr>への背景色の指定
1-3. 表組みの編集 (セルの調整を行う)	P.9
▪ <td>へのIDの指定	▪ 言語コードの指定
▪ <td>へ直接CSSを指定する	▪ <td>への背景画像の指定
▪ <td>へのdir属性の指定	▪ <td>への枠線の色指定
	▪ <td>への背景色の指定
<hr/>	
2.画像の挿入・編集	P.10
2-1. 画像の編集 (画像を編集する)	P.11
▪ マウスオーバーによる画像切替	▪ 言語コードの指定
▪ へのIDの指定	▪ イメージマップ用usemap属性の指定
▪ へのdir属性の指定	▪ へのlongdesc属性の指定




WYSIWYG (ウィジウィグ) 操作マニュアル (高度な設定編)

3.埋め込みメディアの挿入・編集	P.12
3-1. 埋め込みメディアの編集 (埋め込みメディアの編集)	P.13
※各ファイル形式の共通項目	
▪ IDの指定	▪ 埋め込みメディアへの背景色の指定
▪ nameの指定	▪ 埋め込みメディアに対する
▪ text-alignの指定	上下・左右の余白の指定
3-2. 埋め込みメディアの編集 (Flashファイルオプション)	P.14
▪ 各種<param>要素の指定	
3-3. 埋め込みメディアの編集 (Quicktimeオプション)	P.16
▪ 各種<param>要素の指定	
3-4. 埋め込みメディアの編集 (Shockwaveオプション)	P.18
▪ 各種<param>要素の指定	
3-5. 埋め込みメディアの編集 (Windows media playerオプション)	P.20
▪ 各種<param>要素の指定	
3-6. 埋め込みメディアの編集 (Real media playerオプション)	P.22
▪ 各種<param>要素の指定	

4.リンク・アンカーの挿入・編集	P.24
4-1. リンクの編集 (Java Scriptの設定)	P.25
▪ 各種イベントに対し、直接JavaScriptを記述する	
4-2. リンクの編集 (高度な設定)	P.26
▪ <a>へのIDの指定	▪ 言語コードの指定
▪ <a>へ直接CSSを指定する	▪ リンク先の文字エンコーディングの指定
▪ <a>へのclassの指定	▪ リンク先のファイル形式の指定
▪ ターゲット名の指定	▪ リンク先に対する<rel>属性の指定
▪ <a>へのdir属性の指定	▪ tabindex属性の指定
▪ リンク先の言語の指定	▪ accesskey属性の指定

1.表組みの編集



-  …表を挿入する。
-  …行の高さや内包する文字の
行揃え・位置を指定する。
-  …セルの高さや内包する文字の
行揃え・位置を指定する。

1-1. 表組みの編集(表組み全体の調整を行う)

ご参考

細かな装飾を行いたい場合には、「高度な設定」タブ内の項目より調整が可能です。専門的な知識が必要となりますので、予め当社へご相談ください。

✳ マークの部分は入力必須

+ マークの部分は入力を推奨

表の挿入/編集

一般 高度な設定

高度な設定

ID

サマリー

スタイル

言語コード

背景画像

セル枠線 -- 未設定 --

表の外枠 -- 未設定 --

文章の方向 -- 未設定 --

枠線の色

背景色

挿入

クリック

クリックをすると、入力された内容で、空の表組みが本文へ挿入されます。

ID

表組み(tableタグ)に固有の名前を付けることができます。ご利用には予め制作時に設定が別途必要です。担当営業までお問合せください。

+ サマリー

表にタイトルを付けることができます。表組みの内容を簡潔に伝えることのできるタイトルを付けることで、検索エンジンや音声ブラウザのユーザーに対するユーザビリティを向上させることができます。

スタイル

装飾を制御するスタイルシートを直接書き込むことができます。こちらを利用する際にはスタイルシートの知識が必須となりますので、「幅」「枠線の太さ」「枠線の色」などの入力項目で設定をされることをおすすめします。

言語コード

表示する文字の言語を設定する項目になりますが、サイト自体で言語コードの設定を行っておりますので、ご入力いただく必要はありません。

背景画像

指定の画像を表の背景として敷くことができます。

1-1. 表組みの挿入・編集(表組み全体の調整を行う)

セルの枠線

htmlのtableタグの「frame属性」を指定します。表組みの枠線の一部分を消すことができますが、Internet Explorerのみに適用されるものになりますので、ご注意ください。

表の外枠

htmlのtableタグの「rules属性」を指定します。
表組みの内枠の線の表示を指定することができます。

文字の方向

「左から右」「右から左」の2通りの表示を選択ができます。
アラビア語のように右から左に文章を読ませる場合に使用します。

+ 枠線の色

表組みの外枠に引かれる線の色を選択します。
設定しない場合は立体感のあるグレーの枠線となります。

+ 背景色

表組みの背景に敷かれる背景色を選択します。
設定しない場合は「白」が背景色となります。

1-2. 表組みの挿入・編集（行の調整を行う）

ご参考

細かな装飾を行いたい場合には、「高度な設定」タブ内の項目より調整が可能です。専門的な知識が必要となりますので、予め当社へご相談ください。

✳ マークの部分は入力必須

+ マークの部分は入力を推奨

The screenshot shows the 'Table Properties' dialog box with the 'Advanced Settings' tab selected. The 'ID', 'Style', 'Text Direction', 'Language Code', 'Background Image', and 'Background Color' fields are highlighted with red dashed boxes. A red arrow points to the 'Advanced Settings' tab with the label 'クリック'. A red box highlights the 'Update' button with the text 'クリックをすると、入力された内容で、空の表組みが本文へ挿入されます。'

ID

選択した行(trタグ)に固有の名前を付けることができます。こちらを利用する際には、制作会社の設定が別途必要になりますので、ご利用になりたい場合には、制作会社へご相談ください。

スタイル

装飾を制御するスタイルシートを直接書き込むことができます。こちらを利用する際にはスタイルシートの知識が必須になりますので、「幅」「枠線の太さ」「枠線の色」などの入力項目で設定をされることをおすすめします。

文字の方向

「左から右」「右から左」の2通りの表示を選択ができます。アラビア語のように右から左に文章を読ませる場合に使用します。

言語コード

表示する文字の言語を設定する項目になりますが、サイト自体で言語コードの設定を行っておりますので、基本的にはご入力いただく必要はありません。

背景画像

入力欄の横のボタンから画像を選択すると、画像を表の背景として敷くことができます。

+ 背景色

選択行の背景に敷かれる背景色を選択します。表組の先頭行など視覚的に区別を付けるようにしたい場合に、有効です。

1-3. 表組みの挿入・編集（セルの調整を行う）

ご参考

細かな装飾を行いたい場合には、「高度な設定」タブ内の項目より調整が可能です。専門的な知識が必要となりますので、予め当社へご相談ください。

✳ マークの部分は入力必須

+ マークの部分は入力を推奨

セルのプロパティ

一般 高度な設定 ← クリック

高度な設定

ID

スタイル

文章の方向 -- 未設定 --

言語コード

+ 背景画像

+ 枠線の色

背景色

選択セルの更新

更新

クリックをすると、入力された内容で、空の表組みが本文へ挿入されます。

ID

選択したセル(tdタグ)に固有の名前を付けることができます。ご利用には予め制作時に設定が別途必要です。担当営業までお問合せください。

スタイル

装飾を制御するスタイルシートを直接書き込むことができます。こちらを利用するの装飾にはスタイルシートの知識が必須となりますので、「幅」「枠線の太さ」「枠線の色」などは他の入力項目で設定をされることをおすすめします。

文字の方向

「左から右」「右から左」の2通りの表示を選択ができます。アラビア語のように右から左に文章を読ませる場合に使用します。

言語コード

表示する文字の言語を設定する項目になりますが、サイト自体で言語コードの設定を行っておりますので、基本的にはご入力いただく必要はありません。

+ 背景画像

入力欄の横のボタンから画像を選択すると、画像を表の背景として敷くことができます。

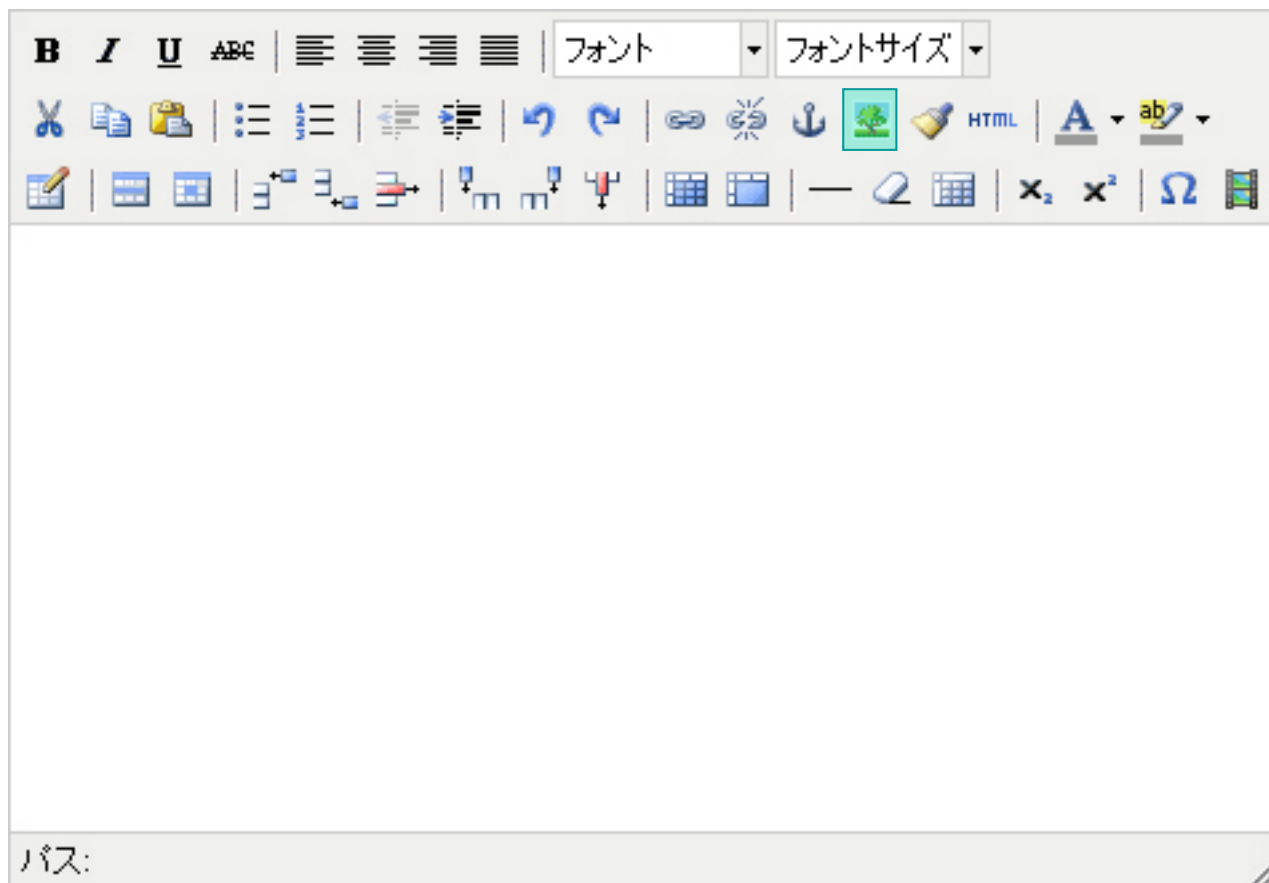
+ 枠線の色


表組みの外枠に引かれる線の色を選択します。

背景色

選択をしたセルの背景に敷かれる背景色を選択します。

2.画像の挿入・編集

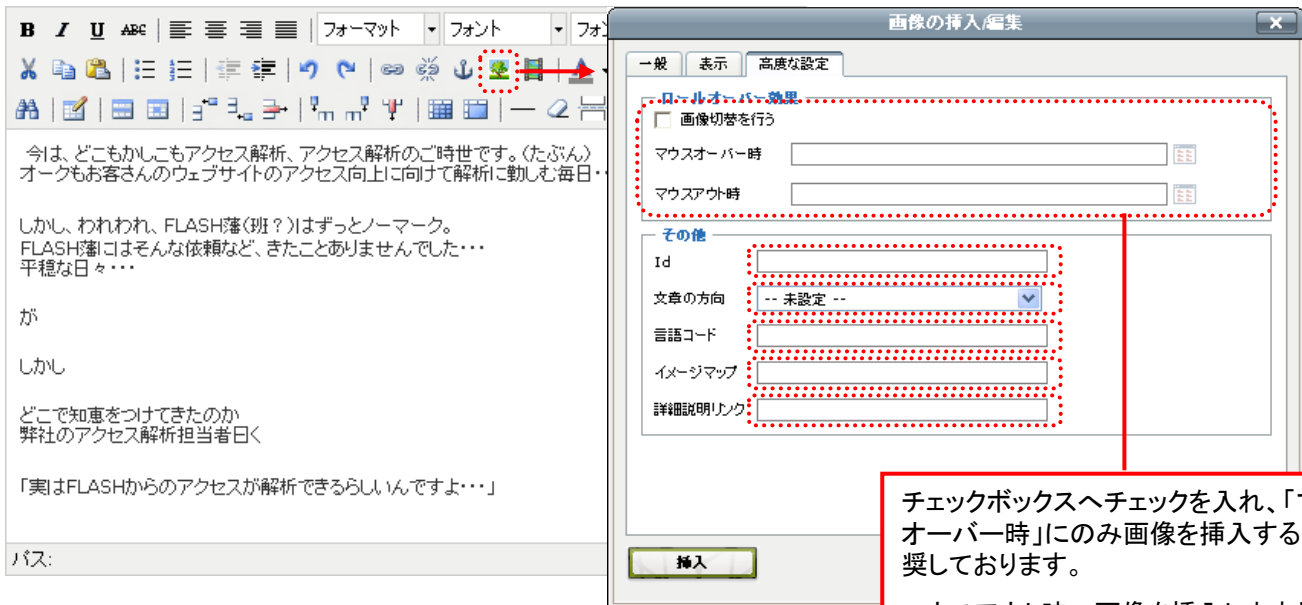


 …画像を挿入・編集する。

2-1. 画像の挿入・編集（画像を編集する）

ご参考

画像の挿入時または挿入後の配置・サイズ・画像周りへの余白などの設定は、「高度な設定」タブ内の項目を編集することで行うことができます。専門的な知識が必要となりますので、予め当社へご相談ください。



チェックボックスへチェックを入れ、「マウスオーバー時」にのみ画像を挿入することを推奨しております。

マウスアウト時へ画像を挿入しますと、マウスアウトをした後も、マウスアウトの画像が表示されたままになります。

マウスオーバー時:
カーソルが画像上にのったときに表示される画像になります。

マウスアウト時:
マウスオーバー後にカーソルが画像上から離れたときに表示される画像になります。

ID

imgタグに固有の名前を付けることができます。ご利用には予め制作時に設定が別途必要です。担当営業までお問合せください。

文章の方向

「左から右」「右から左」の2通りの表示を選択ができます。アラビア語のように右から左に文章を読ませる場合に使用します。

言語コード

表示する文字の言語を設定する項目になりますが、サイト自体で言語コードの設定を行っておりますので、基本的にはご入力いただく必要はありません。

イメージマップ

イメージマップを使用するためのタグの「usemap属性」を指定する項目になります。

htmlの直接入力例

```

```

```
<map name="sample">  
<area shape="rect" coords="22,11,122,62" href="xxx1.html" alt="xxx">  
</map>
```

「イメージマップ」へ入力するとこちらへ反映されます。

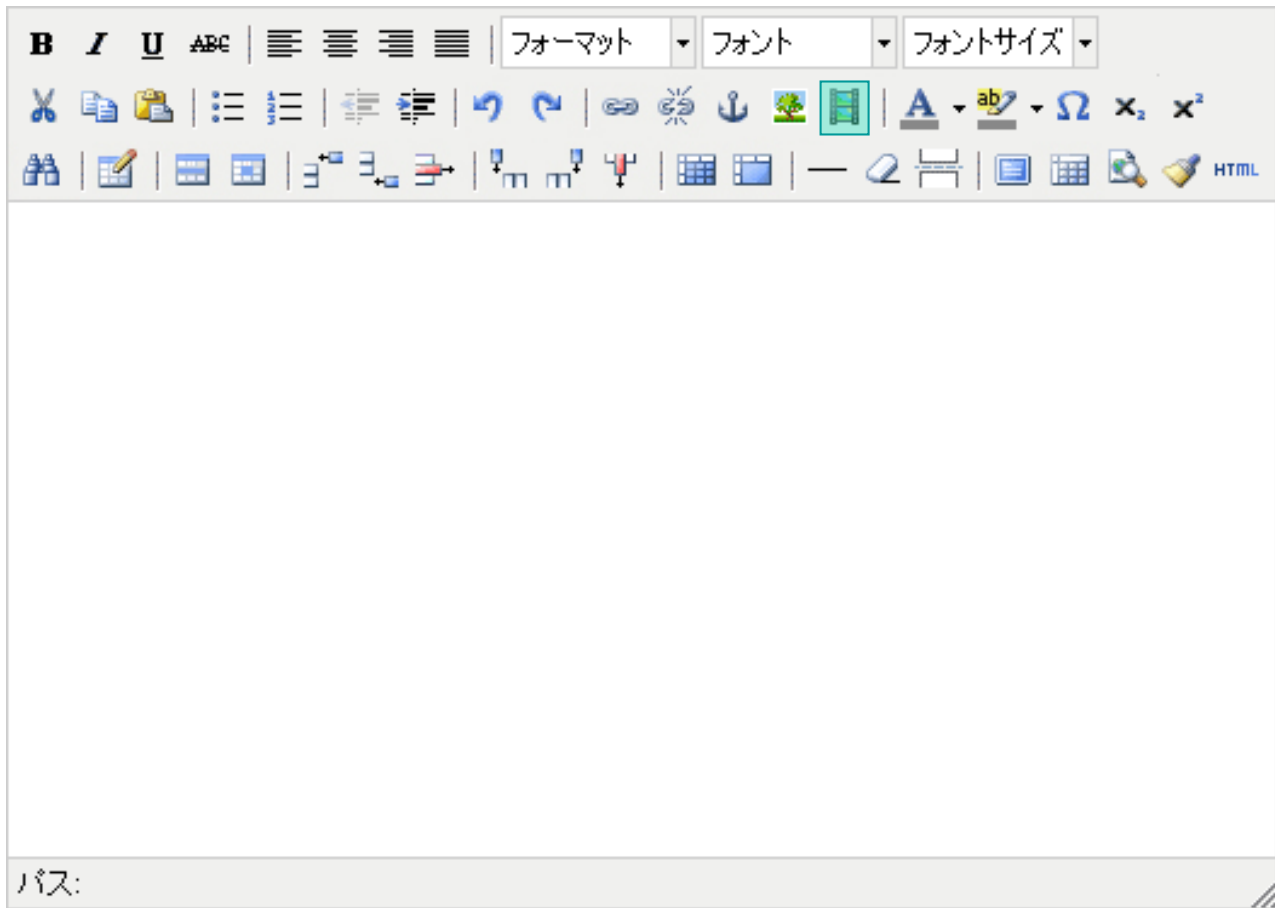
「#」は自動的に付与されませんので、必ず「#」を先頭につけるようにしてください。


※<map>タグ、<area>タグの定義については、別途 [HTML](#) ボタンから直接記述を行っていただく必要がありますので、ご注意ください。

詳細説明リンク

Img要素のlongdesc属性の指定をします。画像の内容をalt属性だけでは伝えきれず、画像説明のためのページを作成している場合に、こちらへURLを記述してリンクを貼ります。

3.埋め込みメディアの挿入・編集



 …埋め込みメディアを挿入・編集する。

記事内に動画やアニメーションを配置するときに使用します。記事に動画やアニメーションを挿入するだけでなく、サイズを調整を行ったり、各種動画形式のオプションの指定する機能も充実しています。

埋込みメディアとは

動画やアニメーションを再生するメディアを挿入することをいいます。ここでは以下のメディアを埋め込むことが可能です。

- ・Flash(拡張子が「.swf」となっているものを再生)
- ・Quicktime(拡張子が「.mov」となっているものを再生)
- ・Shockwave(拡張子が「.dcr」などとなっているものを再生)
- ・Windows Media(拡張子が「.wmv」となっているものを再生)
- ・Real Media(拡張子が「.rm」となっているものを再生)

サイトへ動画ファイルの登録を行うときの注意点 (別紙:Capt.Lucy操作マニュアル P.7参照)

「アップロード可能なファイルについて」以下の拡張子のファイルが、アップロード可能です。

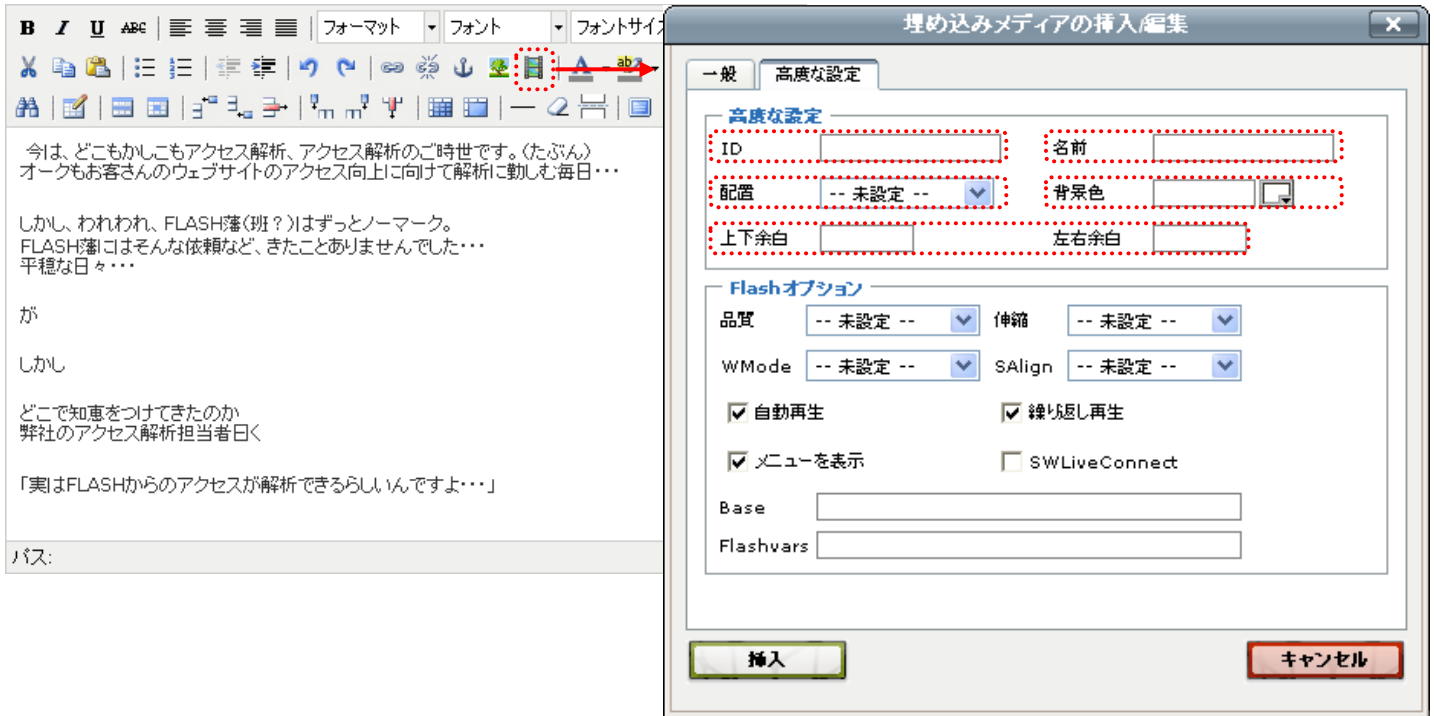
j pg, jpeg, gif, png, pdf, doc, docx, xls, xlsx, ppt, pptx, txt, swf, flv, zip, lzh

※上記以外のファイル形式のデータを登録する場合には、担当営業宛ご相談ください。

3-1. 埋め込みメディアの挿入・編集（埋め込みメディアの編集）

ご参考

動画やアニメーションのファイルの挿入時または挿入後の配置・ファイル周りへの余白などの設定は、「高度な設定」タブ内の項目を編集することで行うことができます。専門的な知識が必要となりますので、予め当社へご相談ください。



ID

埋め込みメディア(objectタグ)に固有の名前を付けることができます。ご利用には予め制作時に設定が別途必要です。担当営業までお問合せください。

名前

param要素の以下の設定を行います。

```
<param name="name" value="〇〇〇" />
```

配置

テキストに対して埋め込みメディアを「右寄せ」、「左寄せ」にするなど、配置を調整できます。

背景色

埋め込みメディアの背景に背景色を敷くことが可能です。設定しない場合は「白」が背景色となります。

上下余白・左右余白

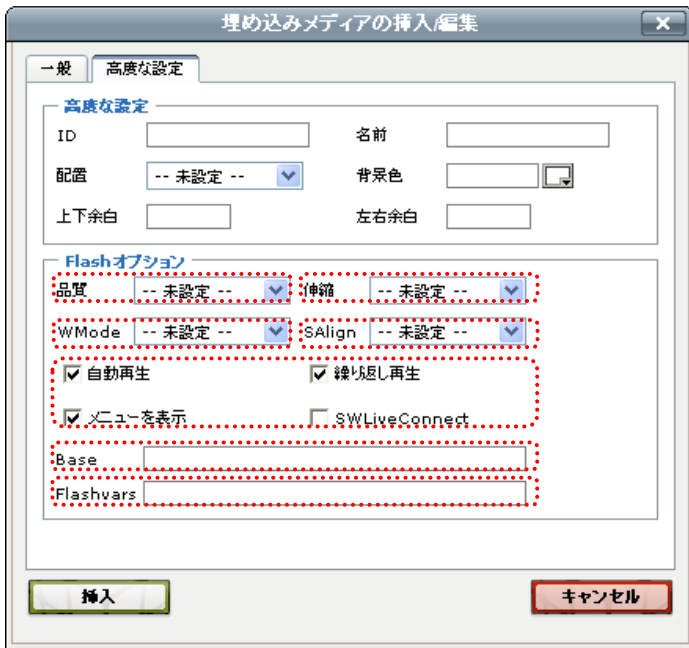
埋め込みメディアの周囲に余白を設定できます。(単位はピクセル)。埋め込みメディアとテキストの間がくっついてしまった場合など、10～15pxの余白を設定すると、適度な配置になります。

3-2. 埋め込みメディアの編集 (Flashオプション)

ご参考

動画やアニメーションのファイルの挿入時または挿入後の配置・ファイル周りへの余白などの設定は、「高度な設定」タブ内の項目を編集することで行うことができます。メディアの種類により、「オプション」の項目が変わりますのでご注意ください。専門的な知識が必要となりますので、予め当社へご相談ください。

Flashファイルの場合



品質

品質に値を設定するとparam要素に「quality」のname属性が与えられます。プルダウンより値を選択すると以下のようにhtmlが生成されます。

プルダウンの値	生成されるhtml
high	<param name="quality" value="high" />
low	<param name="quality" value="low" />
autolow	<param name="quality" value="autolow" />
autohigh	<param name="quality" value="autohigh" />
best	<param name="quality" value="best" />

伸縮

伸縮に値を設定するとparam要素に「scale」のname属性が与えられます。プルダウンより値を選択すると以下のようにhtmlが生成されます。

プルダウンの値	生成されるhtml
showall	<param name="scale" value="showall" />
noborder	<param name="scale" value="noborder" />
exactfit	<param name="scale" value="exactfit" />
noscale	<param name="scale" value="noscale" />

3-2. 埋め込みメディアの編集 (Flashオプション)

Wmode

品質に値を設定するとparam要素に「Wmode」のname属性が与えられます。
プルダウンより値を選択すると以下のようにhtmlが生成されます。

プルダウンの値	生成されるhtml
window	<param name="Wmode" value="window" />
opaque	<param name="Wmode" value="opaque" />
transparent	<param name="Wmode" value="transparent" />

Salign

伸縮に値を設定するとparam要素に「Salign」のname属性が与えられます。
プルダウンより値を選択すると以下のようにhtmlが生成されます。

プルダウンの値	生成されるhtml
左	<param name="Salign" value="l" />
上	<param name="Salign" value="t" />
右	<param name="Salign" value="r" />
下	<param name="Salign" value="b" />
左上	<param name="Salign" value="tl" />
右上	<param name="Salign" value="tr" />
左下	<param name="Salign" value="bl" />
右下	<param name="Salign" value="br" />

自動再生 / 繰り返し再生 / メニューを表示 / SWLiveConnect

param要素の以下の設定を行います。

Flashオプション	生成されるhtml
自動再生	<param name="play" value="true" />
繰り返し再生	<param name="loop" value="true" />
メニューを表示	<param name="menu" value="true" />
SWLiveConnect	<param name="swliveconnect" value="true" />

■ valueの値について
チェックボックスへチェックあり:「true」
チェックボックスへチェックなし:「false」

Base

ムービー内の相対パス指定の基準になるディレクトリやURLを指定します。

<param name="base" value="http://www.〇〇〇〇/flash" />

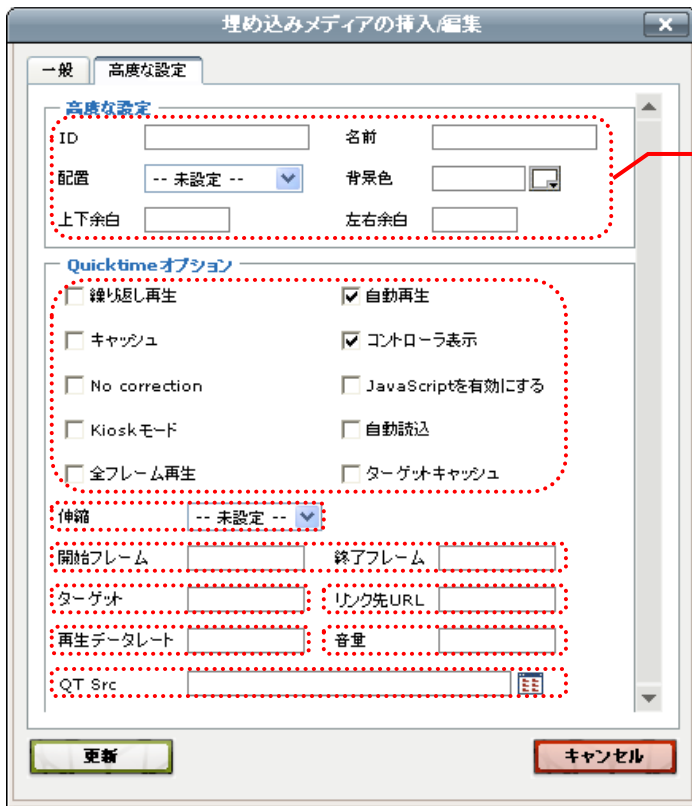
Flashvars

HTMLからFlashに変数を引き渡します。

<param name="flashvars" value="変数名1=値1" />

3-3. 埋め込みメディアの編集 (Quicktimeオプション)

Quicktimeファイルの場合



P. 13をご参照ください。

繰り返し再生 / 自動再生 / キャッシュ / コントローラー表示 / No correction
 Javascriptを有効にする / Kioskモード / 自動読込 / 全フレーム再生 / ターゲットキャッシュ
 param要素の以下の設定を行います。

Quicktimeオプション	生成されるhtml
繰り返し再生	<param name="loop" value="true" />
自動再生	<param name="autoplay" value="true" />
キャッシュ	<param name="cache" value="true" />
コントローラー表示	<param name="controller" value="true" />
No correction	<param name="correction" value="none" />
JavaScriptを有効にする	<param name="enablejavascript" value="true" />
Kioskモード	<param name="kioskmode" value="true" />
自動読込	<param name="autohref" value="true" />
全フレーム再生	<param name="playeveryframe" value="true" />
ターゲットキャッシュ	<param name="targetcache" value="true" />

■valueの値について
 チェックボックスへチェックあり:「true」
 チェックボックスへチェックなし:「false」

■valueの値について
 チェックボックスへチェックあり:「full」
 チェックボックスへチェックなし:「none」

■valueの値について
 チェックボックスへチェックあり:「true」
 チェックボックスへチェックなし:「false」

3-3. 埋め込みメディアの編集 (Quicktimeオプション)

伸縮

伸縮に値を設定するとparam要素に「scale」のname属性が与えられます。
ムービーサイズの調整・拡大縮小を指定します。

プルダウンの値	生成されるhtml
tofit	<code><param name="scale" value="tofit" /></code>
aspect	<code><param name="scale" value="aspect" /></code>

開始フレーム / 終了フレーム

伸縮に値を設定するとparam要素に「starttime(開始フレーム)」「endtime(終了フレーム)」のname属性が与えられます。
再生開始および再生終了ポイントをムービーの最初からの相対時刻で指定します。

※形式は @HH:MM:SS:FF で最後の FF は 1 秒を 30 分の 1 に分割した単位です。

name属性	生成されるhtml
starttime	<code><param name="starttime" value="任意の数値" /></code>
endtime	<code><param name="endtime" value="任意の数値" /></code>

ターゲット

QuickTimeのファイルを開くターゲットを指定します。

`<param name="target" value="myself" />`

リンク先URL

読み込むQuickTimeメタファイルを指定します。

`<param name="src" value="http://www.xxx.com/xxx.mov" />`

再生データレート

エンドユーザーの接続速度に関わらず、ムービー配信のデータレートを一定にする指定を行います。(単位:bps)。

`<param name="qtsrcchokespeed" value="33600" />`

音量

音声のボリュームを「0～255」までの整数で指定します。

`<param name="volume" value="100" />`

QT src

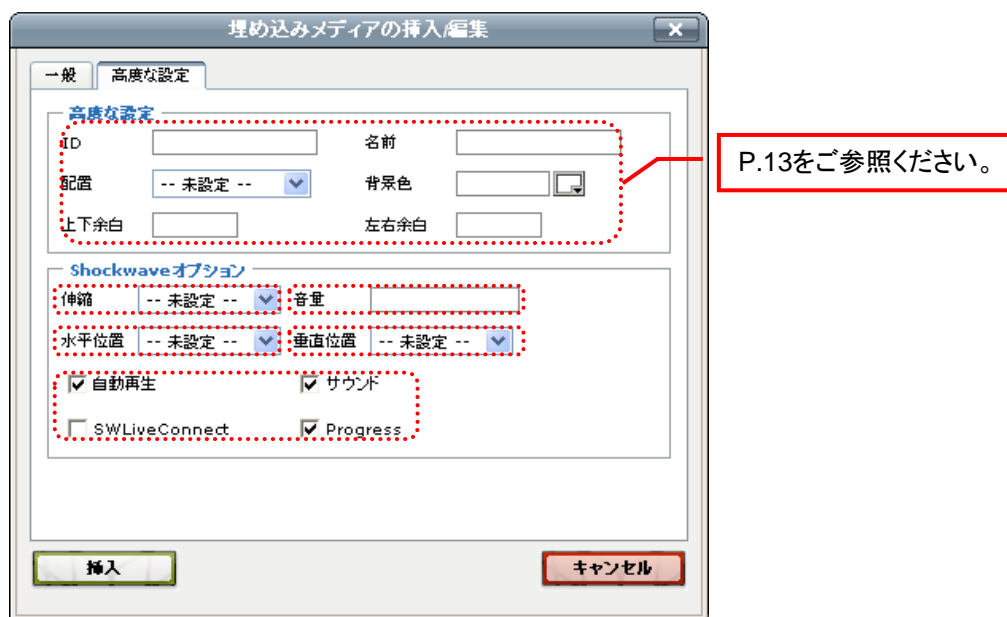
読み込むQuickTimeメタファイルを指定します。

どんなMIMEタイプのファイルでも、強制的にQuickTimeで再生させることができます。

`<param name="qtsrc" value="http://www.xxx.com/xxx.mov" />`

3-4. 埋め込みメディアの編集 (Shockwaveオプション)

Shockwaveファイルの場合



伸縮

param要素の以下の設定を行います。

プルダウンの値	生成されるhtml
meet	<param name="swstretchstyle" value="meet" />
fill	<param name="swstretchstyle" value="fill" />
stage	<param name="swstretchstyle" value="stage" />

音量

音声のボリュームを「0～255」までの整数で指定します。

<param name="volume" value="100" />

3-4. 埋め込みメディアの編集 (Shockwaveオプション)

水平位置

param要素の以下の設定を行います。

プルダウンの値	生成されるhtml
左	<param name="swstretchhalign" value="left" />
中央	<param name="swstretchhalign" value="center" />
右	<param name="swstretchhalign" value="right" />

水平位置

param要素の以下の設定を行います。

プルダウンの値	生成されるhtml
Meet	<param name="swstretchvalign" value="meet" />
Fill	<param name="swstretchvalign" value="fill" />
stage	<param name="swstretchvalign" value="stage" />

自動再生 / サウンド / SWLiveConnect / Progress

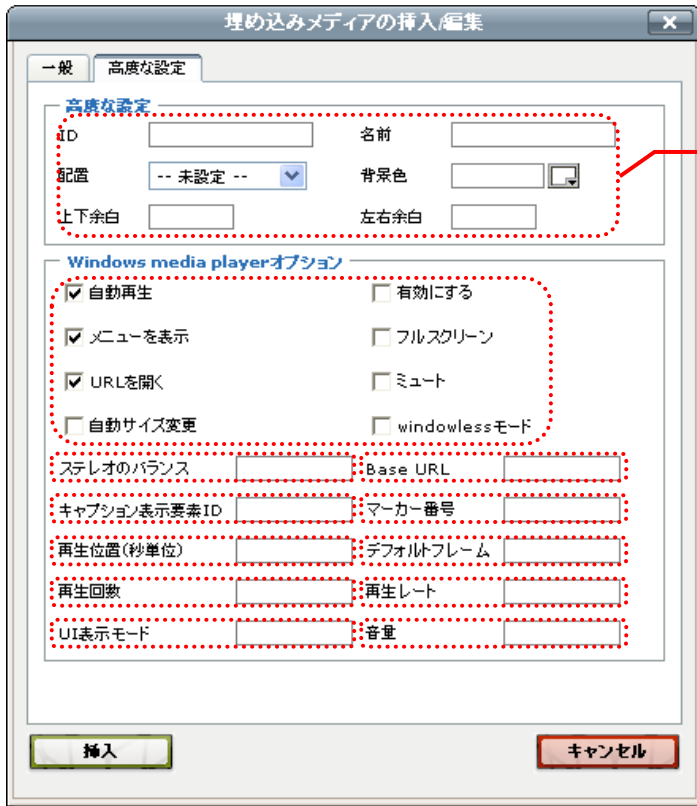
param要素の以下の設定を行います。

プルダウンの値	生成されるhtml
自動再生	<param name="autostart" value="true" />
サウンド	<param name="sound" value="true" />
SWLiveConnect	<param name="swliveconnect" value="true" />
Progress	<param name="progress" value="true" />

■valueの値について
チェックボックスへチェックあり:「true」
チェックボックスへチェックなし:「false」

3-5. 埋め込みメディアの編集 (Windows media playerオプション)

Windows mediaファイルの場合



P.13をご参照ください。

自動再生 / 有効にする / メニューを表示 / フルスクリーン
URLを開く / ミュート / 自動サイズ変更 / windowressモード

param要素の以下の設定を行います。

プルダウンの値	生成されるhtml
自動再生	<param name="autoplay" value="true" />
有効にする	<param name="enabled" value="true" />
メニューを表示	<param name="enablecontextmenu" value="true" />
フルスクリーン	<param name="fullscreen" value="true" />
URLを開く	<param name="invokeurls" value="true" />
ミュート	<param name="mute" value="true" />
自動サイズ変更	<param name="stretchtofit" value="true" />
Windowlessモード	<param name="windowlessvideo" value="true" />

■valueの値について
チェックボックスへチェックあり:「true」
チェックボックスへチェックなし:「false」

3-5. 埋め込みメディアの編集 (Windows media playerオプション)

ステレオのバランス

左右バランスを指定します。※-100 が完全左のみの音声。100 が完全右のみの音声。

```
<param name="balance" value="100" />
```

Base URL

相対パスを解釈する際のベースURLを指定します。※既定値は、現在のディレクトリ

```
<param name="baseurl" value="http://www.xxx.com" />
```

キャプション表示要素ID

キャプションを表示するフレームまたはコントロールの名前を指定します。

```
<param name="captioningid" value="xxx" />
```

マーカ番号

現在のマーカ番号を指定します。

```
<param name="currentmarker" value="0" />
```

再生位置(秒単位)

メディア項目の現在位置を先頭からの秒数(実数)で指定します。

```
<param name="currentposition" value="1" />
```

デフォルトフレーム

フレームの名前(FRAME要素のname属性の値に対応)を指定します。

```
<param name="defaultframe" value="xxx" />
```

再生回数

再生回数として1以上の整数を指定します。※規定値は「1」

```
<param name="playcount" value="1" />
```

再生レート

ビデオの再生速度を実数で指定します。

```
<param name="rate" value="1.0" />
```

UI表示モード

ユーザー・インターフェイスにどのようなコントロールを表示するかを指定します。

```
<param name="uimode" value="full" />
```

音量

音量を0～100の範囲の整数で指定します。※0:無音、100:最大

```
<param name="volume" value="http://www.xxx.com/xxx.mov" />
```

3-6. 埋め込みメディアの編集 (Real media playerオプション)

Real mediaファイルの場合

P.13をご参照ください。

自動再生 / 繰り返し再生 / autogotourl / センタリング
ステータス表示 / 縦横比保存 / Javaを禁止 / プリフェッチ / シャッフル

param要素の以下の設定を行います。

プルダウンの値	生成されるhtml
自動再生	<param name="autostart" value="true" />
繰り返し再生	<param name="loop" value="true" />
Autogotourl	<param name="autogotourl" value="true" />
センタリング	<param name="center" value="true" />
ステータス表示	<param name="imagestatus" value="true" />
縦横比保存	<param name="maintainaspect" value="true" />
Javaを禁止	<param name="nojava" value="true" />
プリフェッチ	<param name="prefetch" value="true" />
シャッフル	<param name="shuffle" value="true" />

■valueの値について
チェックボックスへチェックあり:「true」
チェックボックスへチェックなし:「false」

3-6. 埋め込みメディアの編集 (Real media playerオプション)

コンソール

外部からの制御の際に用いるコンソール名を指定します。

```
<param name="console" value="Clip1" />
```

コントローラ表示

画面に表示されるコントロールの形式を指定します。

```
<param name="controls" value="all" />
```

繰り返し回数

ループ再生の回数を指定します。

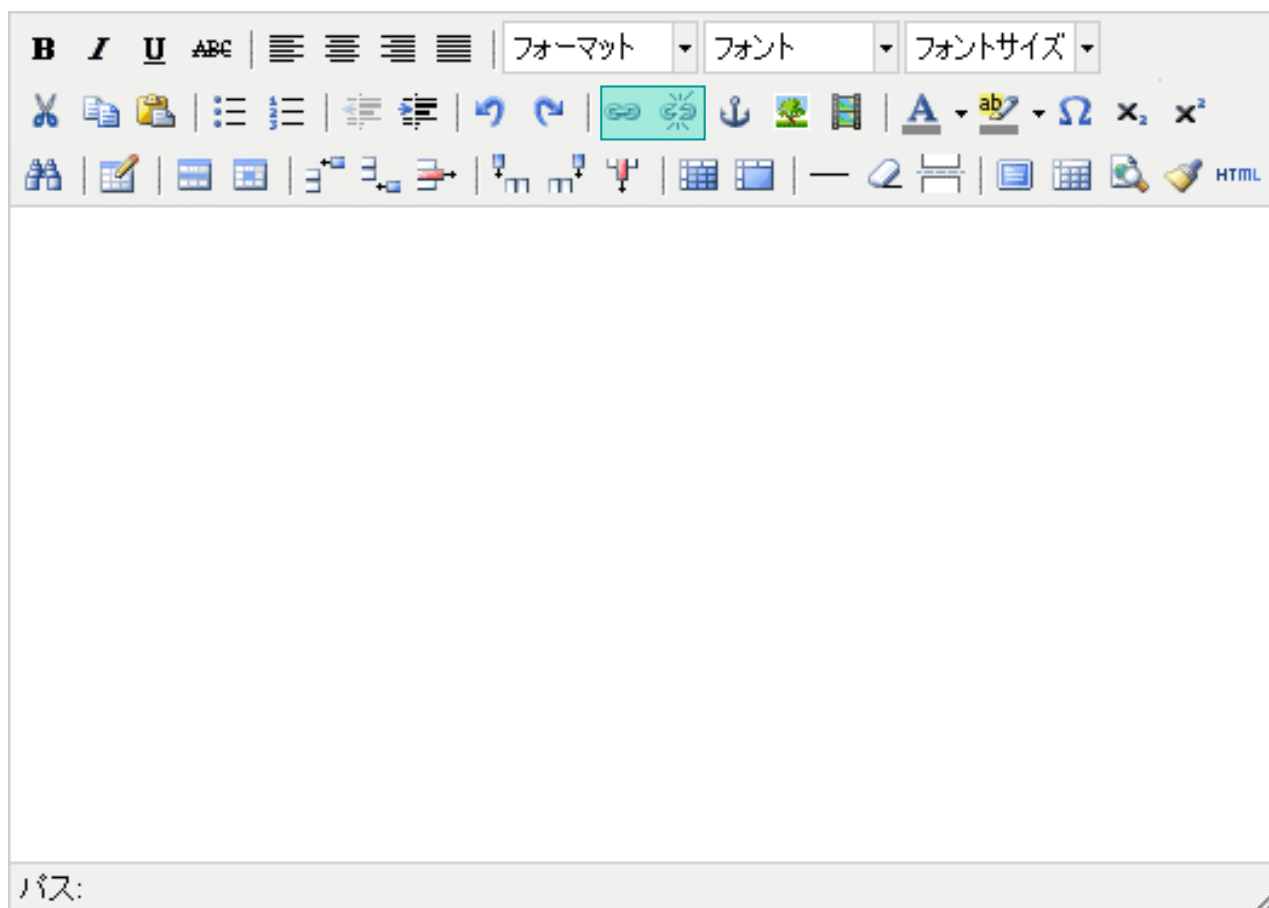
```
<param name="numloop" value="2" />
```


コールバックイベント


処理するコールバック イベントをコンマ区切りのリストで指定します。

```
<param name="scriptcallbacks" value="all" />
```

4. リンクの編集



 ...リンクの挿入・編集を行います。

 ...リンクを解除します。

4-1. リンクの編集 (Java Scriptの設定)

ご参考

JavaScriptを使用し、リンクをクリックした際に様々な動作を行わせることが可能です。こちらの設定に関しましては、JavaScriptの専門知識が必要になりますので、ご入力をなさる際は予め、当社へご相談ください。

The image shows a dialog box titled "リンクの挿入/編集" (Link Insert/Edit) with a close button (X) in the top right corner. The dialog has four tabs: "一般" (General), "ポップアップ" (Pop-up), "イベント" (Events), and "高度な設定" (Advanced Settings). The "イベント" (Events) tab is selected. Below the tabs, there is a list of JavaScript events with corresponding input fields for each. The events listed are: onfocus, onblur, onclick, ondblclick, onmousedown, onmouseup, onmouseover, onmousemove, onmouseout, onkeypress, onkeydown, and onkeyup. A red dotted line highlights the entire list of events and their input fields. A red arrow points from the bottom of this list to a red-bordered callout box containing the text "JavaScriptを直接入力します。" (Enter JavaScript directly).

イベント	入力欄
onfocus	
onblur	
onclick	
ondblclick	
onmousedown	
onmouseup	
onmouseover	
onmousemove	
onmouseout	
onkeypress	
onkeydown	
onkeyup	

挿入

キャンセル

JavaScriptを直接入力します。

4-2. リンクの編集 (高度な設定)

ご参考

挿入するリンクについて、詳細な設定を行うことができます。
専門的な知識が必要となりますので、ご入力をなさる際は予め当社へご相談ください。

リンクの挿入/編集

一般 ポップアップ イベント 高度な設定

高度な設定

ID

スタイル

クラス

ターゲット名

文章の方向 -- 未設定 --

ターゲットの言語

言語コード

ターゲットの文字エンコーディング

ターゲットのMIMEタイプ

このページのターゲットに対する関係 -- 未設定 --

ターゲットのこのページに対する関係 -- 未設定 --

タブインデックス

アクセスキー

挿入 キャンセル

ID

アンカー(aタグ)に固有の名前を付けることができます。
こちらを利用するには、制作会社の設定が別途必要になりますので、
ご利用になりたい場合には、制作会社へご相談ください。

スタイル

装飾を制御するスタイルシートを直接書き込むことができます。
こちらを利用する際にはスタイルシートの知識が必須になります。

クラス

装飾を制御するスタイルシートの「class」を指定することができます。
こちらを利用するには、制作会社にて別途設定を行う必要がありますので、
ご利用になりたい場合には、制作会社へご相談ください。

ターゲット名

リンク先を開くウィンドウを指定します。
例えば、「001」という名前のウィンドウを作成(p.47をご参照ください。)してある場合、
ターゲット名で「001」と指定をすることで、「001」のウィンドウでリンク先を開くことができます。

文章の方向

「左から右」「右から左」の2通りの表示を選択ができます。
アラビア語のように右から左に文章を読ませる場合に使用します。

ターゲットの言語

リンク先のページの「自然言語(日本語、英語、中国語など)」を記述します。

4-2. リンクの編集（高度な設定）

言語コード

表示する文字の言語を設定する項目になりますが、サイト自体で言語コードの設定を行っておりますので、基本的にはご入力いただく必要はありません。

ターゲットの文字エンコーディング

リンク先の文字のエンコーディングを指定します。こちらの指定を行うことで、文字化けを防止することができます。「UTF-8」「Shift_JIS」が広く使用されています。

ターゲットのMIMEタイプ

リンク先の<meta http-equiv>を指定します。リンク先のファイルの形式を示すものになります。例えば、htmlファイルの場合は「text/html」となります。

このページのターゲットに対する関係・ターゲットのこのページに対する関係

htmlの「rel属性」を指定します。

タブインデックス

htmlのtabindex属性を指定します。

アクセスキー

htmlのaccesskey属性を指定します。